

(1) 新規申請（令和2年以降の建築士試験合格者）

免許申請に関するご留意点

建築士法の改正により実務経験が登録要件になったことから、免許申請において以下の点にご留意ください。

1. 申請書類一式をご提出後、士会で書類をお預かりしても、それは免許登録を認めるものではなく、**書類お預かり後に実務経験等の審査を行います**。審査のうえ登録要件が認められない場合は、申請書類一式を返却します。
2. 実務経歴書について、**審査の段階で実務内容等についてお電話等で確認させていただくことがあります**。場合によっては、実務経歴証明書の証明者（または証明書に記入いただいた担当者）に確認のお電話をさせていただくことがあります。
3. 申請された実務経験について、**対象となる実務として判断が難しい場合は、日本建築士会連合会が設置する実務経験審査委員会で個別に審査します**。この場合、必要に応じて、実務に関して補足的に説明するための資料をご提出いただくことがあります。
4. 申請後から免許証明書の交付までの期間は、通常3カ月程度を見込んでおります。なお、「3.」の**実務経験審査委員会で審査された場合、免許証明書の交付は通常よりもさらにお時間を要することがあります**。
5. 登録要件が認められなかった場合、**申請者は免許登録申請手数料の還付請求が可能です**。また、免許申請書に貼り付ける申請手数料の「払込受付証明書」については、書類返却後に登録要件を満たし、改めて免許登録申請する場合もご使用できます。ただし、「払込受付証明書」は原本を貼り付けることが必須ですので、書類返却後に原本を紛失しないようにご注意ください。

■ 免許登録申請 ■

必要書類等	注意事項
二級・木造建築士免許申請書	
申請に係る住所等の届出（新規用）	
本籍の記載のある住民票の写し（原本）	・マイナンバーの記載がないもの ・発行から3か月以内のもの ・外国籍の方は下記（注1）
合格通知書（製図の合格通知書）（原本） （郵送の場合コピー）	・外国で建築士免許を受けた方で、都道府県知事に「二級・木造建築士」と同等以上の資格を有すると認められた方は、外国の建築士免許の写しを提出して下さい
学歴等証明書（原本）	・入学年が平成21年度以降の場合：指定科目修得単位証明書・卒業証明書 ・学校の入学年が平成20年度以前の場合：卒業証明書 ・公益財団法人建築技術教育普及センターのホームページで受験申込を行う際に必要な書類を参考にご用意ください。 ・R2年度以降受験時に提出したものと同一であれば不要
実務経歴書	（学歴+実務で免許登録される方） ・勤務先ごとに必要となります。対象実務については前のページを参照。 ・R2年度以降受験時に提出したものと同一であれば不要
実務経歴証明書	（学歴+実務で免許登録される方） ・勤務先ごとに必要となります。上記実務経歴書と対応していること。 ・記入要領については前のページを参照。 ・R2年度以降受験時に提出したものと同一であれば不要
証明写真 2枚（注2） 「申請書」と「住所等の届出」に貼付	・6ヶ月以内に撮影されたもの（2枚同じもの） ・無帽、無背景、上半身、正面 ・縦4.5cm、横3.5cm（パスポートサイズ） ・裏面に氏名及び撮影年月日を記載
申請手数料払込受付証明書（注3）	・24,400円（申請前に振込み、申請書に貼付） ・必ず申請者本人の名前で振込んで下さい
本人確認ができる公的証明書（注4） （郵送の場合コピー）	・運転免許証等公的な身分証明書
受付書送付用封筒（郵送申請の場合）	・84円切手貼付。申請者の住所・氏名を送付先に記載。

注 1 外国籍の方は、住所地の市区町村で発行している「住民票の写し（国籍の記載を含む）」が必要書類となります。平成 2 1 年 7 月 1 5 日公布、平成 2 4 年 7 月 9 日施行の「出入国管理及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法の一部を改正する等の法律」（以下「改正法」といいます）により、提出書類が変更になりました。市区町村長発行の「住民票の写し」のコピー、又は「在留カード」「特別永住者カード」のコピーではありません。

注 2 貼付写真はそのまま免許証明書の写真となりますので写りの良いものをご準備ください。

注 3 郵便局備付の用紙をお使いになられる場合は、振込の控えがお手元に残りません。振込後、提出前に「払込票兼受領証」のコピーを取っていただくか、建築士会事務局窓口にて配布している、控えの残る専用振込用紙を使い下さい。また「通信欄」へ手続き種別をご記入下さい。

注 4 本人確認に使用する公的な身分証明書は、本人の顔写真がついているものを原則とします。
顔写真がある身分証明書は、以下「1点で良いもの」の中から1点提示してください。
顔写真のない身分証明書の場合は、以下「2点必要なもの」の中から2点提示してください。
いずれの場合も有効な原本をご用意ください。

＜1点で良いもの＞

- ・運転免許証
- ・マイナンバーカード
- ・パスポート
- ・写真付き住民基本台帳カード
- ・宅地建物取引主任者証
- ・在留カード、特別永住者証明書（外国籍の方）
- ・写真付き身体障害者手帳（写真貼替え防止がなされているもの） 等

＜2点必要なもの＞ AとBから1点ずつ、又はAから2点をご用意ください

A	B
・健康保険被保険者証 ・国民健康保険被保険者証 ・船員保険被保険者証 ・介護保険被保険者証 ・共済組合員証 ・後期高齢者医療被保険者証 ・国民年金手帳（証書） ・厚生年金保険年金手帳（証書） ・船員保険年金手帳（証書） ・共済年金証書 ・恩給証書 ・印鑑登録証明書と印鑑 等	・学生証・（写真付きのもの） ・会社等の身分証明書（写真付きのもの） ・公の機関が発行した資格証明書（写真付きのもの） （公の機関とは国の機関、都道府県庁、区市町村役場や国、地方公共団体の行政監視又は行政監察の対象となっている機関などをいいます） 等

■ 免許証明書の交付 ■

免許登録申請の手続き後約 3 ヶ月後に「二級・木造建築士免許についてのご連絡」（免許証明書交付通知ハガキ）をご自宅宛に郵送いたします。
そのハガキが届きましたら以下の1～2をご用意のうえ（公社）兵庫県建築士会へお越し下さい。
※ 免許登録・記載事項の確認を行いますのでなるべく申請者ご本人がお越し下さい。

- 1, 「二級・木造建築士免許についてのご連絡」（免許証明書交付通知ハガキ）
- 2, 印鑑（認印可）

■ やむを得ず代理人に依頼される方は ■

やむを得ず代理人が申請する、または代理人が受取る場合は、次の３点をご持参下さい。

ただし、代理は申請か交付のどちらかとし、申請・交付のどちらか一度は必ずご本人にお越しいただき
本人確認を行います。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">①やむを得ない理由を記した「委任状」②「依頼者の公的証明書の写し」(注５)③「代理人の本人確認ができる公的証明書」(注５) |
|---|

二級・木造建築士免許申請書

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、本籍の記載のある住民票の写しを添えて申請します。
私は、下記事項が事実で、かつ、正確であることを誓います。

年 月 日

兵庫縣知事 様

氏 名

ふりがな 氏 名		生 年 月 日		年 月 日 生		写 真 1. 縦4.5cm、横3.5cm 2. 6箇月以内に撮影したもの 3. 無帽、正面、上半身、無背景 ※写真の裏面に氏名及び撮影年月日を記入してのりで貼り付けてください。 ※貼り付けた写真は免許証に転写されます。	
本 籍				性 別		男□ 女□	
現 住 所							
連 絡 先		電 話 () -		電子メール			
試 験 等		二級・木造建築士試験に合格した時期		年			
		合格通知の日付	年 月 日	合格通知の番号	第 号		
登 録 申 請 区 分		1 学歴□ 3 実務□		2 学歴+実務□ 4 建築士法第4条第5項□			
登録申請区分が1又は2の場合のみ記入		学校名		学部・学科名		入学・卒業（修了）年月	
登録申請区分が2又は3の場合のみ記入		建築実務経験期間の合計		年 月			
登録申請区分が4の場合のみ記入		免許の名称		免許者名		資格認定書の年月日	
						年 月 日	
欠 格 事 由	1 禁錮以上の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日		ある□ ない□ 年 月 日				
	2 建築士法の規定に違反して、又は建築物の建築に関し罪を犯して罰金の刑に処せられたことがありますか。 あるときはその罪及び刑 あるときはその刑の執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日		ある□ ない□ 年 月 日				
	3 建築士法第9条第1項第4号又は第10条第1項の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 あるときは、その年月日		ある□ ない□ 年 月 日				
	4 建築士法第10条第1項の規定による業務の停止の処分を受け、その停止の期間中に同法第9条第1項第1号の規定により一級建築士、二級建築士又は木造建築士の免許を取り消されたことがありますか。 業務の停止の処分を受けたときがあるときは、その停止の期間		ある□ ない□ 年 月 日から 年 月 日まで				
	5 精神の機能の障害により二級建築士又は木造建築士の業務を適正に行うに当たって必要な認知、判断及び意思疎通を適切に行うことができない状態にありますか。		ある□ ない□				
※登録番号		第 号		※登録年月日		年 月 日	

(備考)

- ① 数字は、算用数字を用い、※欄は、記入せず、□のある欄は、□の中にレ印をつけてください。
② 二級建築士又は木造建築士の区分に応じて、該当箇所を○で囲んでください。

実務経歴書

私は、二級・木造建築士の免許・試験を受けたいので、建築実務の経歴を下記のとおり記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

私は、下記の事項が事実で、かつ、正確であることを誓います。

年 月 日
兵庫県知事 様

住 所
氏 名
電 話 (.....)
電子メール

勤務先等

勤務先（部課名まで）	所在地（番地まで）	在職期間の合計	
		年月～年月	年月数
		年 月～ 年 月	年 月
在職期間		地位職名	建築実務の内容 (建築士法施行規則第1条の2)
年月～年月	年月数		
年 月～ 年 月	年 月		

建築実務の詳細			建築実務経験期間の合計	
			年 月	
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
			年 月～ 年 月	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容 (用途、構造、規模、担当業務等をできるだけ具体的に記入してください。)			
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
			年 月～ 年 月	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容 (用途、構造、規模、担当業務等をできるだけ具体的に記入してください。)			
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
			年 月～ 年 月	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容 (用途、構造、規模、担当業務等をできるだけ具体的に記入してください。)			

(備考)

- 数字は、算用数字を用い、二級建築士又は木造建築士の免許又は試験の区分に応じて、該当箇所を○で囲んでください。
- この実務経歴書は、勤務先（自営業を含む。）ごとに作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。

実務経歴証明書

年 月 日

兵庫県知事 様

証明者 住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電 話 () —

電子メール

免許申請者・受験者との関係

下記の者が申請・申込みをした二級・木造建築士の免許申請書・試験申込書に添付された実務経歴書は、事実と相違しないことを証明します。

記

1 免許申請者・受験者の氏名

2 建築実務経験

(1) 建築実務経験期間の合計: 年 月

(2) 建築実務の内容:

(備考)

- 1 数字は算用数字を用い、二級建築士又は木造建築士の免許又は試験の区分に応じて、該当箇所を○で囲んでください。
- 2 この実務経歴証明書は、実務経歴書ごとに作成してください。
- 3 使用者その他これに準ずる者が実務経歴書の内容が事実と相違しないことを確認したことを証明してください。

兵庫県二級・木造建築士
免許申請に係る住所等の届出(新規用)

※受付番号

※写真管理番号

兵庫県二級木造建築士住所等の届出

届出日

年

月

日

兵庫県二級木造建築士住所等の届出

ふりがな

氏名

生年月日

大正昭和平成

年

月

日

性別

男・女

本籍

都道府県

市区郡

ふりがな

住所

〒

都道府県

TEL

登録番号

兵庫県

第

号

登録年月日

平成令和

年

月

日

業務の種別

1. 建築設計(2及び3を除く) 2. 構造設計 3. 設備設計 4. 積算 5. 工事監理又は工事の指導監督 6. 現場管理 7. 技能労務 8. 調査又は鑑定 9. 手続代理 10. 敷地選定等の企画 11. 研究又は教育 12. 行政 13. その他

勤務先

名称

建築士事務所の開設者名

所在地

〒

都道府県

TEL

〔記入注意〕1. 業務の種別及び勤務先の欄は、建築に関する業務に従事しているときに記入してください。
2. 業務種別欄は、該当する数字を○で囲んでください。2種以上の業務に従事しているときは、主に従事しているもの1つを○で囲んでください。
3. 建築士事務所に勤務しているときは、その事務所の開設者名を勤務先の名称の欄に併記してください。

※「二級・木造建築士住所等の届出」との重複項目もご記入ください。

建築士区分

1 二級

2 木造

合格年月日

平成令和

年

月

日

合格番号

合格年

受験番号

5 D

写真貼付欄

注意

1. 申請者本人のみ

2. 6ヶ月以内に撮影したもの

3. 正面、無帽、無背景

4. 縦4.5cm×横3.5cm

* 写真の裏面に氏名を記入してから、のりでしっかりと貼り付けてください。

* 貼付した写真はカードに転写されます。

ふりがな

姓

名

※楷書で大きくはっきりと記入して下さい。(特に特別な字体があるとき)

※外字等特別な字体がある場合は、検索用の一般的な文字を右下の*枠にご記入ください。

旧姓・通称名の併記

希望する →「希望」の場合は○印を付け、以下の旧姓あるいは通称名欄にご記入ください

ふりがな

旧姓

通称名

※ 通称名は登録原票記載事項証明書に記載されているものを記入してください。(ペンネームは不可)

外国籍 国名

事務局欄

☐ 外字使用確認 ☐ 旧姓・通称名使用 ☐ 代理人申請

☐ その他特記事項

※申請書(第1様式)の該当する番号に○をつけてください。

欠格事由

1 2 3 4 5

日中の連絡先(携帯等)